

# 平成23年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック受賞団体の取組概要

## 【東北農政局長賞】

～そばによる山里づくり～

受賞団体：とくさりまえた戸鎖前田水利組合（ろつかしよむら青森県六ヶ所村）

### ◆むらづくりの背景・経緯

米の生産調整により転作田が多くなり、また、農業者の高齢化等から休耕田が目立ち始めるなか、戸鎖前田水利組合は、平成12年度から始まった中山間地域等直接支払制度を活用し、道路・水路の共同管理、耕作放棄地の発生防止、イワナ稚魚放流活動などに取り組むようになった。

これらの活動にともない、集落内での話し合いの機会が増えるようになり、この話し合いの中で、「休耕田や転作田を活用し、かつて集落で栽培されていたそばを復活させ、戸鎖に活気をもたらしたい。」という意見が組合員の多数から出され、これがそばの里づくりの取組へと繋がっていった。

平成16年からそばの作付けを開始したが排水不良等により失敗し、2年間の試行錯誤を重ねてようやく収穫に成功した。平成19年には活動拠点として昔ながらの水車小屋を共同作業で完成させ、新そばまつりを開催するなど精力的な活動を行っている。

### ◆むらづくりの内容

#### ○農業生産面

平成16年以降、そばの栽培面積を徐々に拡大し、平成22年には3.2haでそばを栽培している。

また、生産環境の整備活動として、水路の泥上げ、農道の草刈り等を共同で行うことにより、生産基盤を確保し、耕作放棄を防止している。



そばの栽培風景

#### ○生活・環境整備面

活動拠点の水車小屋「いっこ庵」を会場にして、平成20年から新そばまつりを毎年開催し、打ちたて、茹でたてのそばやそばもちを来場者に提供するほか、新鮮野菜などの販売やニジマス釣り体験を実施し、地域住民、村外からの来場者との交流を深めている。



いっこ庵での新そばまつりの様子